

⑥ 下流から上流までよく見られる魚たち

オイカワ、ウグイ、ヌマチチブ、ギンブナ、アブラハヤ、ニゴイ、アユなどの魚は、天竜川の上流から下流までの広い範囲で見られます。

また、絶滅のおそれのあるスナヤツメも、下流から上流で広く確認されており、天竜川には、貴重な魚類がすめるような環境が多く残されていることがわかります。



ギンブナ



アブラハヤ



ニゴイ

魚類図鑑

注意：全長は、ふつうに見られる中で最大の大きさです。

オイカワ コイ目コイ科

全長：約15cm



■解説

通常は体に目立った模様はありませんが、春から夏にかけての産卵期になると、オスの体に赤色や青緑色のきれいな模様（婚姻色）が現れます。

水深5～10cm程度の流れのゆるい平瀬の砂レキに産卵します。

■食べているもの

川底の石についた藻類や水生昆虫、水面に落下した昆虫などを食べています。

■現地調査での確認範囲

下流域	中流域	上流域
-----	-----	-----

■主な生息環境

河川域		
ワンド	淵	瀬

■生活型

純淡水魚

□：主な確認範囲

ウグイ コイ目コイ科

全長：約30cm



■解説

やや細かいうろこを持ちます。通常は体に目立った模様はありませんが、春の産卵期になると体に赤や黒の帯状の模様が現れます。

淡水で生活する淡水型と、海に出る降海型かいがたがいます。

水深20～70cmの砂や石の川底に産卵します。

■食べているもの

川底の石についた藻類や水生昆虫などを食べています。

■現地調査での確認範囲

下流域	中流域	上流域
-----	-----	-----

■主な生息環境

河川域		
ワンド	淵	瀬

■生活型

回遊魚

□：主な確認範囲

ヌマチチブ スズキ目ハゼ科

全長：約15cm



■解説

体は黒っぽく、顔の横には白い斑点が多数あります。胸びれの付け根はオレンジ色で、赤い横線が入っています。頭が丸く大きいのが特徴です。

ふ化した仔魚はすぐに海に下り、2cmぐらいに成長した後、川にもどります。

水底の石などの下に産卵します。

■食べているもの

雑食性で、川底の石についた藻類や水生昆虫、底生動物などを食べます。

■現地調査での確認範囲

下流域	中流域	上流域
-----	-----	-----

■主な生息環境

河川域		
ワンド	淵	瀬

■生活型

回遊魚

□：主な確認範囲